

1. 役割分担

発表者:金子弘 プリント責任者:金子弘

討議会場:金子の自宅 討議日時:①3月24日 ②5月1日 ③5月7日

2. 教科書のまとめ

- ・インターネットは、学生生活全体にとって重要。
- ・ネットの向こうには生身の人間が居る。普通のコミュニケーションと違って、人間が見えにくい。
- ・電子メールには、ケータイメールとは違うルールがある。
- ・インターネット特有の危険性に注意
- ・情報発信には責任がある。
- ・コミュニティを活用しよう

1. 大学生生活と、インターネットの利用

インターネットは、授業に必要な道具となっている。授業の内容を理解したり、レポートを書いたりするのにも使われ、就職活動など授業以外でも必須の要素となっている。学生時代にインターネットに慣れることが大切であり、ネットを利用する際の注意点や有効に活用するためにはマナーやコツがある。

2. インターネットにひそむ危険

- ・インターネットの情報は最終的には人間によって作られたものであり、情報の背後には人間が居ることを忘れてはならない。
- ・インターネットに危険があることを忘れてはならない。それは、日常生活において危険性があるのと同じである。ただし、インターネットの危険性は解りにくい。

3. 電子メールを送るときに気をつけること

3-1. 教員宛のメール

- ・自身と教授との人間関係を考慮する(親疎など)
- ・名乗らないなど、ケータイメールの常識を持ち込むので、いきなりケータイからは避けるべき

【具体的方策】・サブジェクトをつけて解りやすく簡潔に

- ・自分の名前を名乗る
- ・用件は簡潔に
- ・送信記録を残す
- ・よいメール＝不快にさせない 悪いメール＝不快にさせる
- ・返事を書く

3-2 面識のない人にメールを送る場合

- ・信頼できる人かどうかを見極めてメールを送る
- ・自分の信頼性を上げるために大学のメールから送る
- ・出だしを含めて、文面は慎重に書く
- ・読み返す

- ・返事をもったらお礼のメールを送る。 自分を含めた大学の信用に関わることである。

4 情報を受信する際に気をつけること

- ・スパムメールは無視する
- ・チェーンメールに気をつける
- ・添付ファイルに用心する
- ・ドメインを見極める
- ・ネットには、見たくない情報があることを覚悟して使用する
- ・ネットでは、危険な情報への認識が弱くなる

5 情報発信をする際に気をつけること

- ・著作権、肖像権などに気をつける
- ・リンクは自由が原則だが、注意を
- ・ホームページ公開の範囲に配慮する

6 最後に

- ・インターネットコミュニティーを活用しよう